



公園の遊具の種類や配置は どうやって決まるの？

《30歳代男性》



現在、市が進めている公園の整備事業は、大きく3つに分けられます。

1つ目は、壊れたり、古くて使えなくなった遊具の更新、2つ目は、新しい市街地の開発にあわせて設置する新たな公園の整備、3つ目は、古くなった公園のリニューアル整備です。

このうち、2つ目の新たな公園整備と3つ目のリニューアル整備では、各種遊具のほか、休憩施設（ベンチやあずまや）、トイレ、広場、園路など

全面的な整備を行います。市は、地域の特性に合った公園づくりを行うため、その設計にあ

たって地域の皆さんによるワークショップを開催し、遊具の種類や配置を決定しています。

ワークショップは、通常3回開催します。おおまかな流れはつぎのとおりです。

【1回目】ワークショップの概要と進め方の説明、あらかじめ行ったアンケート調査（どのような公園にしたいか）の結果報告、自由な意見交換（ディスカッション）を行います。発表された意見をおお

まかに分け、参加者全員で公園のイメージを共有します。

【2回目】1回目のおさらいをした後、遊具やそのほかの公園施設の種類や配置（ゾーニング）に関する具体的な話し合いを行い、方向性を決定します。

【3回目】2回目の内容に基づき作成した平面図の案を提示し、参加者により最終案をとりまとめます。

ワークショップで決定した内容などの状況は、その都度、回覧板などにより、地域の皆さんにお知らせしています。

ワークショップに参加することで、皆さん自身が公園の遊具の種類や配置などを考えることができます。お住まいの地域で開催のお知らせがあったときは、ぜひ参加してください。

都市整備課公園整備係
☎(24)06996



ワークショップに参加して皆さんの「声」を届けましょう

声

町内の公園がリニューアルされると聞きました。公園は子どもといっしょによく利用するので、どのように変わるのか楽しみです。新しく公園をつくるときやリニューアルするとき、遊具の種類や配置はどのようにして決まるのですか？



【ワンポイントメモ】

ワークショップとは、もともとは「仕事場」、「工房」、「作業場」など、共同で何かを作る場所の意味です。

最近では、「体験型の学習」や皆さんが集まって意見を交換するなど「住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法」を指してつかわれることが多くなっています。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】